

発信 No.2023-5
2023年4月25日
学校法人 大正大学

2025年問題 解決の糸口を探るプロジェクトを開始

～企業と学生がタッグを組み「食育」「木育」の大切さを伝える～

大正大学（学長：高橋秀裕、所在地：東京都豊島区）の表現文化学科アート&エンターテインメントワークコースの2年生46名が企業や団体と共同し、2025年問題でとりざたされる少子化に焦点を当て、その課題解決の糸口を探るプロジェクトを開始します（担当教員：外川智恵）。

本授業では、子どもの学校生活を支えている「学校給食（食育）」と「学校施設専門家具（木育）」に注目。この領域の第一線で活躍する認定NPO法人21世紀構想研究会と株式会社西尾家具工芸社が実際に抱える課題の解決方法を本コースの学びで得たエンターテインメントの力を生かしながら提案します。



第1回目の授業では企業・団体の皆様に参加いただきお話を伺いました

4月11日（火）の第1回目の授業では、認定NPO法人21世紀構想研究会と株式会社西尾家具工芸社の担当者から学生が話を聞き、「食育」や「木育」の大切さが世の中に伝わり切れていないことに課題意識を持っていると知りました。4月から6月までの授業を通して、その課題解決に導く提案を5人1組のグループで考えます。6月の最終授業ではプレゼンテーションによる発表を実施し、優秀賞を決定予定。それぞれの企業・団体より、副賞として当団体等のHPでの企画案の発表や、学会での発表の場の提供などが用意されており、大学と実社会を行き来する先進的な取り組みとなります。

【本件のポイント】

- ①社会問題に対して当事者意識を持ち、社会課題の解決に自らの学びを結びつける PBL（Project-Based Learning）での取り組みです
- ②企業・団体と共同して取り組むことで、大学の枠を超えた新しい学修区分での実践となります
- ③学生が分析・立案した企画を社会に向けて発表する場の提供は自己肯定感の創出になります



企業・団体のご担当者積極的に質問をする学生

〈協力企業・団体〉

■認定NPO 法人21世紀構想研究会

知的基盤の強固な研究現場と産業振興の技術革新を実現し、真の科学技術創造立国の確立を目的として活動を展開。毎年、食育ワークショップ、食育シンポジウムなどの開催もおこなっている。今回のテーマ：学校給食や食育の関心を集めたり理解を広げるPR方法確立、または学校給食が果たしている重要性の周知方法確立

■株式会社西尾家具工芸社

「子どもたちに良質を」の企業理念に基づき、安全で快適に学べる教育空間の提供を第一に学校施設づくりの専門家具メーカーとして教育環境に貢献する事業を展開。今回のテーマ：子どもの健康や学校空間に快適さを与えることができる、安心安全な材料を使用した什器の重要性の周知方法確立

◆表現学部表現文化学科アート&エンターテインメントワークコース

パフォーミングアート（舞台芸術）、ファインアート、アミューズメントビジネス、ミュージアム、メディア業界、音楽ライブビジネスなど「人々に幸せな時間を提供し、自分も幸せを感じる」ようなエンターテインメントに関わるプロデューサーやマネージャーを育成しています。

チームの一員として何が必要とされ、どう行動すべきかを考え、さらに知的財産権、マーケティング、広報などの知識を学び、センスを磨くことで、業界の枠を超えて広く社会で活躍する能力を養います。

◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正15年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和2年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学が推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。公式HP：<https://www.tais.ac.jp/>

■取材に関するお問い合わせ

大正大学 広報課

取材のお申し込みはこちらからお願いいたします：<https://www.tais.ac.jp/user/press/>

電話：03-5394-3025（直通）FAX：03-5394-3046/E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp

令和2年度
文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校

「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」 大正大学